

2016 年度事業報告

<地方自治および地域問題に関する調査・研究事業>

(1) 「2016 年度民進党府民クラブ事業検証会議」に協力

- ・2016 年 9 月 8 日（木）に行われた「民進党府民クラブ事業検証会議」に、参考人の派遣依頼がありました。そこで、澤井 勝奈良女子大学名誉教授と壬生裕子京都市自治総研研究員を派遣しました。
- ・検証会議に先立ち、2016 年 9 月 2 日（金）に、田中健志議員から説明を受けるとともに、対応について検討しました。
- ・当日は、6 事業を 2 班に分け、それぞれの事業ごとに、本来の事業目的にそった事業内容になっているかについて具体的に質問。学生を含む参考人からも同様に質問を行ったのち、担当する職員と意見交換をしました。
- ・最後に、事業をさらにより良いものとするためのアイデアが出され、実りのある「検証会議」になりました。
- ・会議の内容については、平井としき府議会議員が、会報 28 号で報告しました。
- ・詳細は、以下の通りです。

日 時 2016 年 9 月 8 日（木）10：30～16：30

会 場 京都ガーデンホテル

第 1 班 班 長／岡本和徳議員、班員／松岡 保議員、小原 舞議員

参考人／壬生裕子、京都府立大学生 2 人

対象事業／けいはんなオープンイノベーションセンター活用事業費

少子化対策総合戦略事業費の一部

女性の輝き応援事業費の一部

第 2 班 班 長／平井斉己議員、班員／田中美貴子議員、北川剛司議員

参考人／澤井 勝、京都府立大学生 3 人

対象事業／子どもの未来を守る事業の一部

留学生総合支援事業費の一部

府民公募型整備事業費（建設交通部関係のみ）

(2) 宮城県鳴子「さとのわ」の視察・調査

- ・調査・研究事業の一環として、「宮城全国自治研集会」の全体会でパネラーとして登壇した、「さとのわ」（宮城県鳴子温泉）を主宰する鈴木美樹と、「さとのわ」を支える鳴子の人びとについて、視察・調査しました。
- ・鈴木美樹は「湯治文化に魅せられて東京から移住。“湯治”を現代の都市生活者に向けて再発信する“温泉マルシェ”、里山の素朴であたたかな料理を地元のお母さんたちに教わる“里山ごはん食べに行こう”、地元のインストラクターと歩く“五感を呼び覚ます森歩き”、地産地消のプレゼンテーションを試みる“里山カフェ”など、心と体を癒やす時間、場所を企画・運営」（宮城全国自治研集会資料より）し、鳴子と都市との交流によって、観光客の減少に悩む鳴子のまちづくりに貢献しています。

- ・調査は、2017年2月3日～5日に、自治労京都府本部執行委員の小檜山一良（埋蔵文化研究所執行委員長）、濱本武志（京田辺市職書記次長）と、黒岩洋子（京都自治総研）で行いました。
- ・鳴子では、鈴木美樹の企画で、「里山カフェ」のリピーター松本好子と熊坂みのる、スタッフの佐藤真由美と佐藤麻希、森林インストラクターの遊佐文博、宿「みやま」主人の板垣幸壽、漆職人の小野寺公夫、湯治文化ビジネス創造プロジェクト委員会委員長の遊佐久則、鳴子の名産であるこけしを現代風にアレンジして制作している「カガモク」の加賀 道などからお話をうかがいました。
- ・上記以外に、小檜山一良は、宿泊した「みやま」の裏庭にある宮城県を代表する古墳について専門の見地から助言を行ったり、漆職人の小野寺公夫が研究する「漆」について資料を提供するなど、専門性を生かした交流を行いました。
- ・また、濱本武志は、宿泊した「みやま」の主人が参加する町内の会合に同伴し、コミュニティーの在り方について調査をしました。
- ・調査結果については、2017年5月発行した会報「京都フォーラム」129号と、2017年8月頃発行予定の130号で報告します。

<地方自治および地域問題に関する学習・交流事業>

(1)「総会記念講演会」の開催

- ・総会の開催に合わせ、記念講演会を下記の通り開催しました。
 - ・講演の内容については、会報127号に収録しました。
- 日 時 2016年6月2日（木）18：30～20：00
 会 場 京都府総合福祉会館「ハートピア京都」
 テーマ 人口減少時代における地方自治と地方分権再訪
 講 師 新川達郎（同志社大学政策学部教授）
 参加者 52人

(2)「2016 京都自治研集会」の開催

- ・2016年8月9日に、自治労京都府本部主催、京都自治総研共催の「2016 京都自治研集会」を、下記の通り開催しました。
- ・京都自治総研では、実行委員会に参加して、単組レポートの確保や運営などに協力しました。
- ・また、分科会助言者として、今川 晃理事と只友景士理事が参加しました。
- ・片山善博教授の講演内容と、発表レポートのうち、「京都自治研賞」を受賞した3本を、会報127号（2016年11月発行）に掲載しました。

日 時 2016年8月9日（火）
 会 場 メルパルク京都
 スローガン 「“消滅？” “創生？” 考えようよ！地域から
 …”さきの幸せ＝まちの未来”」

全体会 ① 基調提案：

中谷文明（2016 京都自治研集会実行委員長・府本部副執行委員長）

② メイン講演：「真の“地方創生”とこれからの自治体」

片山善博（慶應義塾大学法学部教授）

- 分科会 第1分科会：助言者／新川達郎（同志社大学政策学部教授）
司 会／春日隆志（自治労京都府本部書記次長）
レポート数 7本
- 第2分科会：助言者／只友景士（龍谷大学政策学部教授）
司 会／森本尚秀（自治労京都府本部執行委員）
レポート数 6本
- 第3分科会：助言者／今川 晃（同志社大学政策学部教授）
司 会／濱本武志（自治労京都府本部執行委員）
レポート数 7本

(3) 「第31回自治総研セミナー」への参加

- ・2016年9月10日に開催された「第31回自治総研セミナー」に、木村幹雄理事長と岡本哲也専務理事が出席しました。
- ・また、同日に開催された、全国自治研センター（研究会）交流会に、岡本哲也専務理事が出席し、他団体と情報交換を行いました。
- ・セミナーの内容は、下記の通りです。

日 時 2016年9月10日（土）10：00～16：00

テーマ 「不寛容の時代を生きる —— 生きづらさを克服する解を求めて」

講演1 「租税抵抗の国・日本」

佐藤 茂（東北学院大学経済学部共生社会経済学科准教授）

講演2 「“田園回帰”をたしかな流れにするために」

—— オルタナティブとしての農山村の確立を目指して

坂本 誠（NPO法人ローカル・グランドデザイン理事）

パネルディスカッション 「不寛容の時代の自立戦略ー自己責任論を超えて」

パネリスト 厚谷 司（夕張市議会議長）、佐藤 茂、坂本 誠

コーディネーター 其田茂樹（自治総研研究員）

(4) 「全国自治研究集会」への参加

- ・全国自治研集会在、2016年10月14日（金）から15日（土）にかけて、宮城県仙台市で開催されました。
- ・京都自治総研から、橋元信一副理事長、高橋直樹副理事長、岡本哲也専務理事、黒岩洋子事務局長の4人が参加しました。また、府本部単組から9単組26人、府本部から2人が参加しました。
- ・全国自治研集会へは、「2016 京都自治研」で発表されたレポートのうち、20本を提出しました。
- ・そのうち八幡市職員労働組合が、全国自治研実行委員会からの依頼を受け、当日の分科会で発表しました。
- ・また、2014年の全国自治研で「チャレンジサポート」を受賞した京都市学校給食労働組合が、全体会で活動結果を発表しました。

- ・全国集会に合わせて、毎回、開催される「全国自治研センター・自治総研交流会」に、岡本哲也と黒岩洋子が参加し、他団体と意見交換を行いました。

(5) 「憲法理念の実現をめざす第 53 回大会（略称・第 53 回護憲大会）」への参加

- ・日本社会は、地球環境や原発問題、さらに安倍政権による憲法改正など、さまざまな課題を抱えています。それらは国政のみならず、住民や地方自治体にも大きな影響を与えています。
- ・そこで、学習・交流事業の一環として、2016 年 11 月 12 日（土）～ 14 日（月）に富山市内で開催された「憲法理念の実現をめざす第 53 回大会」に、岡本哲也専務理事参加しました。
- ・当初、参加を希望する会員に対し、経費の半額を補助する予定でしたが、募集した結果、応募がなかったため、この計画は実現しませんでした。

(6) 「2017 年度地方財政セミナー」の開催

- ・毎年、次年度の地方財政について学習する「地方財政セミナー」を、今年度も自治労京都府本部と共催で、下記の通り開催しました。
- ・内容は、会報 129 号（2017 年 5 月発行）に掲載します。

日 時 2017 年 2 月 15 日（水） 18：30～20：00

会 場 京都市「こどもみらい館」

テーマ 「2017 年度地方財政の動向」

只友景士（京都自治総研理事、龍谷大学教授）

「地方財政確立の取り組み」

岡本哲也（京都自治総研専務理事、自治労京都府本部書記長）

参加者数 53 人

(7) 府内自治体首長との対談

- ・2016 年度は、以下の 2 自治体の首長と対談形式で情報交換を行い、交流を深めました。

<向日市長との対談>

日 時 2016 年 4 月 14 日（木） 13：00～14：30

会 場 向日市役所

出席者 安田 守（向日市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

- ・対談では、面積が全国で 3 番目に小さい市区域に対し、さまざまな制度を利用して土地活用を図っていることや、商店街の活性化、平和への取り組みなど、特色ある施策についてうかがいました。

- ・内容は、会報 126 号（2016 年 6 月発行）に掲載しました。

<亀岡市長との対談>

日 時 2016 年 12 月 6 日（火） 10：00～11：30

会 場 亀岡市役所

出席者 桂川孝裕（亀岡市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

- ・対談では、亀岡市全体をガーデンミュージアムにするなど、東京農業大学農学部（現 地域環境科学部）造園科で学んだ知識を生かした壮大なまちづくりなどをうかがいました。
- ・内容は、会報 128 号（2017 年 2 月発行）に掲載しました。

<地方自治および地域問題に関する情報提供事業>

(1) 会報「京都フォーラム」の発行

- ・2016 年度の会報「京都フォーラム」は、以下の 3 号を発行しました。

〔第 126 号〕（2016 年 6 月 30 日発行）

<こんにちは「向日市長」>

「向日市が“ふるさと”になるまちづくり」

安田 守（京都府向日市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事）

<2016 年度地方財政セミナー>

「2016 年度 地方財政の動向」 只友景士（龍谷大学政策学部教授）

「財政分析からみる給与の状況」 岡本博和（宇治田原町職員組合書記次長）

「自治労京都府本部 カンボジア・スタディツアー」

高橋直樹（自治労京都府本部執行委員長）

濱本武志（自治労京都府本部執行委員）

<社会貢献活動に取り組む労働組合 ②>

「京都府電力関連産業労働組合総連合（京都府電力総連）」

木村幹雄（京都自治総研理事長）

岡本義則（関西電力労働組合京都地区本部会長）

〔第 127 号〕（2016 年 11 月 1 日発行）

<2016 年総会記念講演>

「人口減少時代における地方自治と地方分権再訪」

新川達郎（同志社大学政策学部教授）

<2016 京都自治研集会記念講演>

「真の“地方創生”とこれからの自治体」片山善博（慶應義塾大学法学部教授）

<2016 京都自治研集会第 1 分科会「京都自治研賞」受賞レポート>

「熊本地震に係わる京都市上下水道の支援状況等について」

臼居 聡（京都市水道労働組合）

<2016 京都自治研集会第 2 分科会「京都自治研賞」受賞レポート>

「京都府の労働相談から見える問題」東 明子（自治労京都府職員労働組合）

<2016 京都自治研集会第 3 分科会「京都自治研賞」受賞レポート>

「清掃職場の新たな取り組みと新たな公共サービス確立のために」

小林勇也・久保小太郎・奥村将真（八幡市職員労働組合現業評議会）

〔第128号〕（2017年2月20日発行）

<こんにちは「亀岡市長」>

「亀岡全体を“ガーデンミュージアム”に」

桂川孝裕（京都府向日市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事）

<自治労京都市職25周年記念パネルディスカッション>

「25年の歩みと、これからの労働組合」

挨拶／篠原輝雄（自治労京都市職中央執行委員長）

司会／高橋直樹（元自治労京都市職書記長、自治労京都府本部執行委員長）

パネリスト／

羽室 武（元自治労京都市職中央執行委員長、元連合京都会長）

北本 勤（元自治労京都市職中央執行委員長、元京都市労連執行委員長）

木村幹雄（元自治労京都府本部執行委員長、元連合京都会長）

橋元信一（元自治労京都市職中央執行委員長、連合京都会長）

「民進党・府民クラブ京都府議会議員団 2016年度事業検証」

平井としき（京都府議会議員）

<社会貢献活動に取り組む労働組合 ③>

「地域社会との連携を強く」

木村幹雄（京都自治総研理事長）

山田良尚（ユニチカユニオン宇治 支部委員長）

(2) Facebook の充実

- ・木村幹雄理事長を中心に、Facebook の充実を図りました。